

平成22年度第1回千葉県文化財保護審議会議事要旨

日 時 平成22年5月24日（月） 午後2:00～4:00
場 所 千葉県庁中庁舎9階企画管理部会議室
出席委員 濱島委員、武笠委員、小笠原委員、井原委員、吉良委員、
吉田委員、入江委員、岡本委員、黒須委員、福田委員、二上委員、
佐野委員
教育庁職員 川島教育次長、上野文化財課長、松岡副課長、永沼学芸振興室長、
太田文化財保護室長、小久貫主任文化財主事、
萩原主任文化財主事、岸本主任文化財主事、八木主任文化財主事、
福田主任文化財主事、渡辺主任文化財主事、秋山主任文化財主事、
猪野文化財主事

1 開 会

2 委嘱状交付

3 教育次長あいさつ

4 委員紹介

5 職員紹介

6 平成22年度の博物館・文化財行政について（文化財課長）

7 議事

（1）会長・副会長の選任について

（2）平成21年度指定文化財保存状況等調査報告について

○大塚ばやし

【事務局】（別紙資料により説明）

【委 員】

江戸囃子というものは、笛や太鼓は一人ずつです。五人全部違ったリズムになるのが一般的ですが、「大塚ばやし」では幼児や小学生が一斉に締太鼓を揃えて打っています。背景なども、地元の先生が描いたものを使用しています。江戸囃子の芸能からは変化しているが、逆に、変化したので、今まで続いているのかなと思います。子どもたちと華やかにやっているのです、保護者も一所懸命に参加しています。

今更、元に戻せとは言えないので、こういう変化もあるのかと思

っています。どこまで変化を許容できるかということもあるのですが、曲やその内容が変わっている訳ではありません。祭り囃子本来の楽しさというものは、受け入れられているように思い、容認すべき変化と考えます。

【会 長】

こうした民俗芸能といたしますと、後継者の問題が話題になりますが、この件については、芸態の変化はあったようですが、むしろそういったことが継承に力を添えたと考えられます。今後、太鼓の修理なども出てくるようですが、この他には問題はないようです。伝承されていくことに期待したいと思えます。

(3) 平成22年度指定文化財の保存状況等調査について

(4) 平成22年度調査対象文化財について

8 事務連絡

9 閉会